

(臨床研究に関する公開情報)

公立陶生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 経口抗Xa薬と併用薬剤との薬品相互作用による抗Xa活性への影響についての調査

[当院研究責任者] 部署名 医療技術局薬剤部 氏名 寺島 純一

[研究の背景] 経口抗凝固薬としては古くからワルファリンという薬剤が使用されています。ワルファリンはPT-INRという検査値の変動を確認することで薬剤の効果を確認し、投与量を調節する必要があります。これは、ワルファリンという薬剤の効果に個人差があり、食品や他の薬剤との相互作用があるためです。近年、より簡便かつ安全に用いることの出来る薬剤として経口抗Xa薬が開発され使用されるようになりました。経口抗Xa薬は基本的に投与量を細かく調節する必要がないのですが、その効果を調べる検査は一般的になく、また、薬品相互作用について指摘されていることが課題です。最近の研究で経口抗Xa薬の効果を、抗Xa活性という検査値を調べることにより確認できることが分かってきました。経口抗Xa薬と併用薬剤との薬品相互作用による抗Xa活性への影響については十分に明らかになっていない部分があります。

[研究の目的] 経口抗Xa薬と併用薬剤との薬品相互作用による抗Xa活性への影響を明らかにすることで、より安全かつ効果的な薬物治療に役立てることを目的とします。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

リバーロキサバン、アピキサバン、エドキサバンを内服した上で、西暦2013年1月1日から西暦2017年7月31日の間に抗Xa活性の測定をしている方。

●研究期間：公立陶生病院 倫理審査委員会承認後から2025年4月1日

●利用する検体、カルテ情報

カルテ情報：診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、心エコー検査）、薬歴等

●検体や情報の管理

情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者である寺島純一が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

公立陶生病院

所属部署 医療技術局薬剤部 氏名 寺島 純一

電話 0561-82-5101

FAX 0561-82-9139